

「医療安全週間（11/21～11/27）」 によせて

那覇市立病院 副院長
医療安全管理室 宮田 裕史



厚生労働省は、「患者の安全を守る」ことを中心とした総合的な医療安全対策を推進するため、2001年から各関係者の共同行動を「患者の安全を守るための医療関係者の共同行動」と命名し様々な取り組みをしています。その一環として、国民に理解や認識を深めていく事を目的として、11月25日を含む1週間を「医療安全推進週間」と定めています。また、一般社団法人日本医療安全調査機構は、医療法に基づく「医療事故調査・支援センター」として2015年10月から「医療事故調査制度」をスタートし、6年3か月分の実績報告がありますので、その要約について少し解説します。

センターの目的は医療現場の安全の確保を目指して、医療事故の相談・支援、院内調査結果の整理・分析、医療事故の再発防止のための普及・啓発等の取り組みを行う事としています。相談の累計は11,599件に上り、医療事故報告は2,248件あり、9割の調査が終了し報告書がセンターに集積されています。コロナ禍（2020～2021）年においては、相談件数及び医療事故件数は1～1.5割減少傾向でありました。病床規模別あたりの医療事故発生報告数は、病床規模が多くなるにつれて件数が増加しています。特定機能病院の報告が全体の15～20%を占めています。沖縄県の医療事故発生報告数は、3.8件/年と全国平均2.9件/年よりは、高いことになっています。

起因した医療の分類別を見ると治療に伴うものが多く特に手術麻酔（分娩を含む）に起因したものが45%程度を占めています。私は専門が麻酔科であり、日常手術室で過ごしています。

手術室においては、どの様に安全対策が行われているかを紹介します。

皆さんは、ブリガム・アンド・ウィメンズ病院外科医のAtul Gawandeが、執筆した「アナタはなぜチェックリストを使わないのか？」という本をご存じでしょうか。この本の中には現在、我々が医療の現場で行っているチェックリストの元となることが書かれています。まず初めに、WHOの目標として、手術室の危険性を安価に、大幅に測定可能な形で低減させることを掲げた。そのために、まず航空業界や建設業界など医療よりもはるかに複雑で数多くの人が携わる現場においてどのように安全に、そしてスムーズに仕事が行われているかを参考にし、チェックリストを作ることにしました。それを基に、安全な手術のためのチェックリストを作成し、色々な国の手術室で検証を行った。その結果、手術時の合併症や死亡率が減少するという結果となりました。2009年にニューイングランドジャーナルオブメディシンに掲載されました。それを基に現在「安全な手術のためのチェックリスト」として使用されています。これは、使用する病院の実情に合わせて使用することが望ましいとなっています。現在、那覇市立病院手術室においても、タイムアウトとして手術前に必ず全員が手を止めて次のことを確認しています。①自己紹介②患者氏名・年齢③病名・手術部位・術式④手術・麻酔・輸血同意書⑤血液型・感染症の有無⑥手術予定時間⑦予想される出血量を確認しています。このことは、どんなに緊急であっても必ず行われています。タイムアウトとは、航空業界の用語にある「ポー

//////////////////////////////// 月間(週間)行事お知らせ //////////////////////////////////

ズポイント」からきており、一時停止点でチームは立ち止まっていくつかのチェックを行う事になっている。手術室では安全な医療のためにこのようなことが行われています。チェックリストを作成するにあたり大事な点の1つとして、チェック項目は5～10程度のシンプルなものにすることがあります。

今回、手術室という特殊な環境におけるチェックリストについて書きましたが、色々な場面でこのチェックリストは役に立つものです。医療技術の進歩は凄まじく、複雑になっています。そのためにも必要なことになっています。チェックリストの活用により安全な医療を目指していくことが大切であります。



//////////////////////////////// **お 知 ら せ** //////////////////////////////////

暴力団追放に関する相談窓口

暴力団に関するすべての相談については、警察ではもちろんのこと、当県民会議でも応じており、専門的知識や経験を豊富に有する暴力追放相談委員が対応方針についてアドバイスしています。

暴力団の事でお困りの方は一人で悩まず警察や当県民会議にご相談下さい。

●暴力団に関する困り事・相談は下記のところへ

受 付 月曜日～金曜日（ただし、祝祭日は除きます） 午前10時00分～午後5時00分

TEL (098) 868 - 0893 なくそうヤクザ 862 - 0007 スリーオーセブン

FAX (098) 869 - 8930 (24時間対応可)

電話による相談で不十分な場合は、面接によるアドバイスを行います。

「暴力団から不当な要求を受けてお困りの方は……悩まずに今すぐご相談を(相談無料・秘密厳守!)」

財団法人 暴力団追放沖縄県民会議